

要望書

有明海沿岸道路（鹿島諫早間）の整備促進について

地域の成長へ



広域道路ネットワーク

令和7年
有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会
（諫早市・鹿島市・太良町）

道路は最も基礎的な社会資本であり、安全で快適な国民生活と活力ある経済社会を実現するために必要不可欠です。例えば 熊本地震のような自然災害が発生した際には、既存道路が十分に機能しないことが懸念されており、「命の道」として、人々の移動や物流を確保し、救急医療に対応するためには代替道路や避難ルートの整備が求められています。

特に、公共交通機関の脆弱な地方においては、道路は地域住民の日常生活と密接な関係にあり、整備を求める地域住民の声には切実なものがあります。

しかしながら、その整備状況は都市部に比べると、大きく立ち遅れ、広域的な地域間交流・連携の障害となっており、「国土の均衡ある発展」には程遠い状況となっています。

つきましては、中央と地方の移動格差を十分認識され、これまで以上に地方の声や実情に配慮していただき、21世紀の活力ある地域づくりのため、次の事項に特段の御配慮を賜りたく、強く要望します。

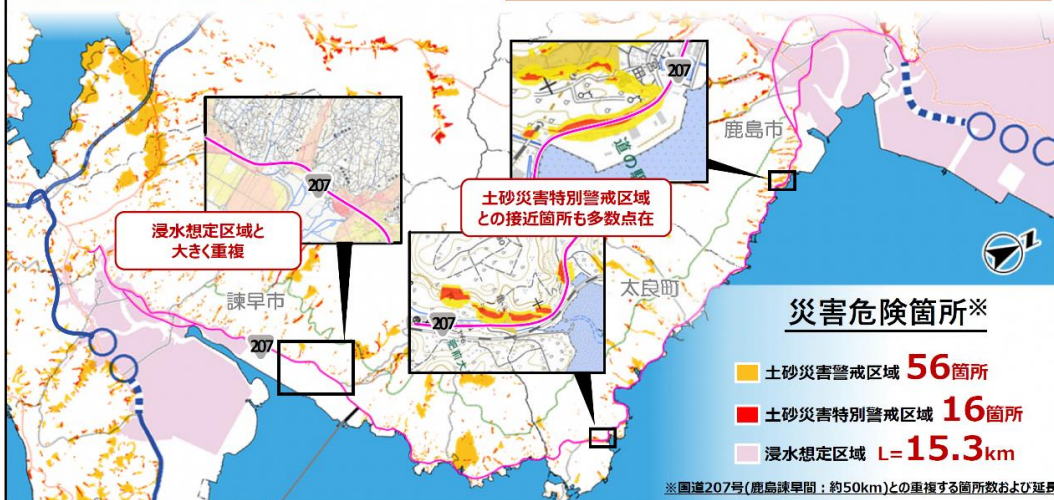
- 1 地域の発展のために必要となる社会資本整備のための公共事業費を増額するとともに、地方創生に資する道路関係予算を安定的かつ持続的に確保すること
- 2 地方創生2.0により日本全体の経済の活力を取り戻していくため、国内投資拡大や生産性向上につながる高規格道路の整備など、幹線道路ネットワークの機能強化を図ること
- 3 第1次国土強靱化実施中期計画に基づき、その実現に必要な予算・財源を通常道路予算とは別枠で早期に確保するとともに、予算編成過程において資材価格や人件費の高騰等の影響を適切に反映し、必要な予算を満額確保すること
- 4 防災や地域創生など、B／Cだけでは測れない効果も踏まえ、交通量の多寡によらない多様な観点も含めて事業の必要性を適切に評価する仕組みを構築すること
- 5 頻発化する大規模自然災害に即応するため、地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと

Topic1 防災 大規模災害に備え、対応できる防災力！

鹿島諫早間の幹線道路は、生活エリアを通過する国道207号のみであり、
安全保障のダブルネットワークの構築が必要不可欠。

鹿島諫早間は土砂災害警戒区域や
浸水想定区域が多数存在

しかし…
災害時のリダンダンシーが確保されていない



期待される効果

災害時のリダンダンシー確保

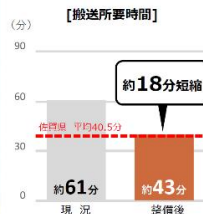
Topic2 医療 『地域医療』を支える、救命救急搬送！

佐賀県医療センター 好生館
(第3次救急医療機関)

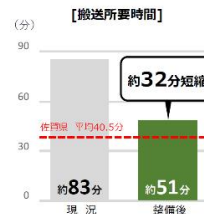
有明海沿岸地域の鹿島市・太良町・諫早市は、
直近の第3次救急医療機関までに1時間以上を
要します。生命に危険が及ぶ重症・重篤患者の
救命救急では、1分1秒が命に直結するため、
所要時間の短縮が喫緊の課題です。



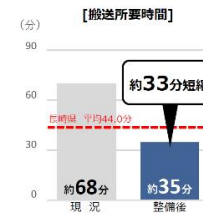
太良町(太良分署)▶現場▶
嬉野医療センターへの搬送



太良町(太良分署)▶現場▶
佐賀県医療センター好生館への搬送



諫早市(高家分署)▶現場▶
長崎医療センターへの搬送



※R3全国道路ネットワーク計画(仮称)12h平均旅行速度(整備後は高規格道路区間について480.0km/h(仮称))
※仮定値・長崎県平均の値・R6年度分・設想的な状況(道路状況(道路状況))

期待される効果

- ▶ 救急搬送時間の短縮による救命率の向上
- ▶ 走行性の改善により患者への負担軽減に寄与



有明海沿岸道路（鹿島諫早間）の道路整備について

重要要旨

有明海沿岸地域の佐賀県鹿島市、太良町から長崎県諫早市までの高規格道路としての位置付けの明確化に向けて、2県間を繋ぎ3市町を経由する広域にわたる区間に関して、有明海沿岸道路や島原道路等と一体となった広域道路ネットワークの整備が求められていることから、路線の調査・検討に着手していただくことを強く要望します。

(理由)

佐賀県鹿島市、太良町、長崎県諫早市は、多良岳や経ヶ岳など多良岳山系と干潟を有する有明海沿岸に囲まれた地域に位置し、人や地域を相互につなぐ幹線道路は一般国道207号のみとなっています。

災害時の道路が担う役割に着目すると、「熊本地震」や「令和3年8月の大雨」のような激甚化、頻発化する自然災害に備えるためには、広域道路ネットワークのミッシングリンク解消や大規模災害時のダブルネットワークによる代替道路の確保が求められています。

現在、有明海沿岸地域の福岡県、熊本県、佐賀県、長崎県の各地域は、沿岸地域を環状に結ぶ高速交通ネットワークを形成する高規格道路の整備が着々と進められていますが、鹿島市から諫早市までの区間（延長約50km）は、未着手の路線となっています。

このような中、有明海沿岸地域では、観光団体の連携や多くの半導体企業の立地が進んでおり、観光の周遊性の向上や速達性、定時性の確保による産業活動の活性化、さらには農業や漁業などの市場拡大という面からも、本区間の整備は、ますます重要なものとなっています。

このため、災害に強い道路整備と有明海沿岸地域の一体的発展を図るためには、鹿島市から諫早市間において、地域間の相互交流及び連携機能を有する、有明海沿岸道路や島原道路と同等の道路機能が必要不可欠であります。

地域の声

The Voice of the local people

諫早

県央消防本部 高来分署

「第3次救急医療機関」まで1時間以上かかるため、長時間の搬送や渋滞による緊急走行の遅れを危惧しています...

道路が整備されることで、救急搬送時間が短縮され、多くの命が救われます。



太良

コハダ漁師

佐賀空港までの輸送に時間がかかり、コハダの荷傷みや鮮度不良を心配しています...

輸送道路が確立されれば、九州各地への小売りの販路の拡大期待が大！



鹿島

ありあけ海道盛り上げ隊
(民間18団体)

令和7年、国土交通省の日本風景街道に『ありあけ海道～トレジャーロード～』※が登録！
※ルートA：3市2町（鹿島市、太良町、白石町、小城市、佐賀市）

有明海沿岸の特色ある地域資源を磨き上げ、地域を超え、連携、発信していきます！

有明海沿岸地域を、ぐるっとつなぐ有明海沿岸道路などの道路整備が一刻も早く進むよう活動します！



本会を構成する2市1町（長崎県諫早市、佐賀県鹿島市、佐賀県藤津郡太良町）に係る道路整備の促進につきましては、日頃より格別の御高配と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今日、我が国の財政状況は厳しい状況ではありますが、幹線道路ネットワークの整備により、住民の命と暮らしを守り、地域の活性化を図ることは、地方にとって非常に重要であります。

また、本格的な少子・高齢化社会への移行という社会構造の急激な変化の中で、安全で良好な生活環境を次世代に引き継ぐためには、社会・経済活動を支える道路整備のより一層の推進が不可欠であります。

つきましては、道路整備の積極的な促進と本会構成2市1町を結ぶ有明海沿岸道路や島原道路等と一体となった広域道路ネットワークの整備に対しまして、特段の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会

会長 諫早市長 大久保 潔重



有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会

会長	長崎県諫早市長	大久保 潔重
副会長	佐賀県鹿島市長	松尾 勝利
監事	佐賀県太良町長	永淵 孝幸
会員	長崎県諫早市議会議長	北島 守幸
"	佐賀県鹿島市議会議長	徳村 博紀
"	佐賀県太良町議会議長	江口 孝二

期成会活動は、各市町HPでも公開中です！

今後、SNSなども活用しながら、道路整備の必要性等を発信していく予定です



有明海沿岸道路(鹿島～諫早)
ストック効果集

はコチラ▶▶
<https://www.city.saga-kashima.lg.jp/main/11850.html>



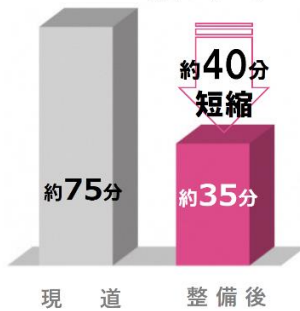
道路整備に関する国、県などへの
要望(要望書)

はコチラ▶▶
<https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/post40/33314.html>





鹿島市
約50km
諫早市



※ R3 全国道路街路交通情勢調査より算出
※ 12h 平均旅行速度 (整備後は 80.0km/h で計算)
※ 諫早市街地～鹿島市街地間で計上

凡例

高規格道路

- 供用中
- 事業中
- 調査中

※ 紺色は
有明海沿岸
ネットワーク

一般広域道路

- 供用中
- 事業中
- 調査中

構想路線

- 構想路線

その他主たる道路

- 一般国道

主要な拠点

- 都市
- 空港
- 鉄道駅
- 港湾
- 道の駅

観光資源

- 有明海周辺の主要な観光地
- 世界文化遺産
- ラムサール条約登録湿地

Topic3 産業の流通を支える広域道路ネットワーク！

有明海沿岸には全国的に高いシェアを誇る魅力的な産業が数多く存在しています。カーボンニュートラルや省人化の観点からも、**円滑な交通で他の輸送手段との連携を強化し、最適なモーダルコンビネーション※2を実現します。**



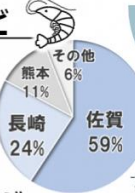
半導体 サプライチェーンの強化

- ▶ 有明海沿岸周辺には半導体工場が多く、九州内部でのサプライチェーンの形成・強化につながる。
- ▶ これによる更なる企業立地の促進や雇用の創出が見込まれる。



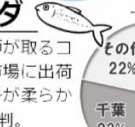
芝エビ

新鮮で甘みのある有明海産の芝エビは各市場で高評価。



コハダ

竹崎の投網漁師が取るコハダは、東京市場に出荷され、新鮮で身が柔らかく味が良いと評判。



グラフ資料：東京卸中央卸売市場出荷量別加工品別 (R6.4～R7.3実績)



小長井牡蠣

甘くふくらした身が特徴で、かき日本一決定戦初代グランプリにも輝いた。



竹崎カニ

「ガザミ」と呼ばれるワタリガニの一種でギュッと詰まった身、凝縮されたうま味は絶品と称される。



畜産業

金星佐賀豚

おいしさと同時に安全策にも取り組んだ太良町自慢のブランド豚。



太良みかん

まろやかな甘さとほどよい酸味が特徴で太良町の自慢の逸品。

期待される効果

輸送時間の短縮、走行性の改善による品質向上
および販路・市場規模拡大

※2：各輸送モード（トラック、鉄道、空路、海路など）の特性を生かし、人々によりメリットが生まれるよう総合的・柔軟に輸送モードを組み合わせた輸送体系

Topic4 観光地域の交流・連携を促進し、新たな観光推進を図る！

有明海沿岸道路の整備促進に合わせた地域観光の連携で、大きな相乗効果を生み出します。



鹿島

肥前浜宿

毎年肥前浜宿で開催される「鹿島酒蔵ツーリズム®」は、人気のイベントで、来場者数は約10万人。



太良

海中鳥居

がよ潮佐見う時質らにに果れ見は遠るえ有産人る明に気神海認の秘に定式的浮きボなかれ、ツ景んト色だ満



諫早

諫早眼鏡橋

日本で最初に国の重要文化財に指定された石橋。緑豊かな場所であり、桜やツツジ、虫や紅葉など季節ごとに趣ある景観を楽しめる。



祐徳稲荷神社

貞享4年（1687年）に創建されたもので、日本三大稲荷のひとつ。年間約300万人の参拝者が訪れる。



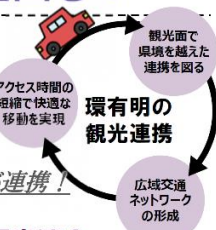
竹崎城址展望台

南北朝時代に築城された竹崎城を再現した展望台。有明海を望む360度のパノラマが楽しめる。



フルーツバス停

イチゴ、ミカン、メロン、スイカ、トマトの形をしたバス停が16か所あり、インスタ映えスポットとして注目を集めている。



有明海

沿岸地域が連携！

経済界が団結！ 環有明海観光連合

令和4年に福岡、佐賀、長崎、熊本各県の観光協会により設立！
令和5年に有明海沿岸道路の早期整備を求める「鹿島宣言」が採択され、県境を越えた地域づくりが期待される。

有明海沿岸地域の魅力向上！ 有明海沿岸地域振興会議

令和6年8月、有明海沿岸地域の自治体26市町が連携し、設立！

期待される効果

豊富な地域資源を活かした
広域観光ルートの形成による地域経済の活性化